

J PFP 国際人口問題議員懇談会

The Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

No.25 August 2014

● 国連人口基金 (UNFPA)

ババトウンデ・オショティメイン事務局長の再任



国連の潘基文(パン・ギムン)事務総長は21日、国連人口基金(UNFPA)ババトウンデ・オショティメイン事務局長の再任を発表しました。

再任のステートメントの中で潘事務総長は、これまでのババトウンデ事務局長のUNFPA活動への貢献、特に、貧困その他の状況によって疎外された女性や少女たちに対する取り組みを評価し、同氏への感謝の意を表明しました。

ババトウンデ事務局長は、ナイジェリア連邦共和国出身。ナイジェリア連邦共和国のイバダン大学で MBBS(医学士・科学士)、イギリスのバーミンガム大学で薬学博士号を取得しています。2008年から2010年までナイジェリア連邦共和国保

健大臣を務め、ナイジェリア国内の HIV/エイズ対策を統合する国家 HIV/エイズ活動委員会の委員長を経て、現職を務めています。以下に再任に当たっての同氏のコメントを紹介します。

「これまで4年間にわたりこの素晴らしい組織をリードできたことに誇りを感じています。今後も女性や少女たちの生活を改善し、すべての妊娠が確実に、望まれたものとなるよう活動を続けていきたいと思っております。すべての出産が安全なものとなり、また若者がその潜在的な可能性を十分に発揮できる社会となるよう、皆様と一緒にこの取り組みを継続できること



昨年11月東京で開催された APDA・UNFPA 共催人口と高齢化に関する国際国会議員会議に参加したババトウンデ事務局長

を嬉しく思っています。」

「カイロ会議以降、この20年間で進捗も見られましたが、依然として私たちは困難な問題を抱えています。ICPDレビューによれば、不平等、貧困、差別が今なお残り、一人ひとりの、そして社会の福利が脅かされ、すべての者のために尊重されるべき人権の享受が脅威にさらされています。幸運にも我々は今、何をすべきか、どこで我々の活動が必要とされているのかを知っています。焦点を明確化した戦略分野と、技術を持って熱心に取り組むスタッフ、そして優れたサービスと結果へのコミットメントにより、UNFPAはこれまで以上に課題に取り組んでまいります。」

再任を祝して JPFP 役員からも祝意が贈られ、JPFP として、UNFPA と日本とのより密接な協力関係と、人類の未来のためのより一層の貢献に対する強い期待が述べられました。



国際人口問題議員懇談会(JPFP)事務局

(公財) アジア人口・開発協会(APDA)

TEL: 03-5405-8846

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>

入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。